



積企第50号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

積丹町長 益子 清 美



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け 国道企第114号で依頼のありました標記について、下記のとおり意見を提出します。

記

(1) 人流・物流ネットワークの形成につながる高速道路等の整備

地域の自立・活性化のため、広域的な人流・物流ネットワーク整備は、広大な北海道では今後も促進が必要な事項です。高速道路や高規格幹線道路などの一層の整備により、道内主要都市や空港等から地域までのアクセスの高速化・快適化・安定化が図られる道路整備を要望します。

(2) 主要幹線道としての国道の整備

後志管内は、気象や地形など厳しい自然条件下にあり、既存の国道機能の安全性と利便性を確保するためには、岩盤斜面に関わる安全対策や海岸線における越波対策等が今後も必要です。地域の主要幹線道路として、安全な通行が確保される国道の整備促進が図られるよう要望します。

(3) 地域の景観や安全に配慮した道路の整備

住民生活の利便性の向上、経済の活性化や地域産業の振興のための国道の維持や交通安全対策、沿道の緑化や環境対策が必要です。

これら施策の実施にあたっては、地域の景観に配慮した道路整備、維持管理を要望します。

- ① 道路整備において発生する、残土及び撤去工作物等の堆積・保管等処理方法の景観に配慮した施工を望みます。
- ② 路肩部に雑草が繁っていることは、景観が損なわれるとともにゴミの不法投棄を助長します。また、野生動物の道路への飛び出しによる交通事故の誘発要因となることから、路肩部の除草作業の充実を望みます。
- ③ 防風雪柵は、冬期間その効果が発揮されますが、夏期間は道路からの眺望を遮断するとともに暴風雪柵自体が景観を損ねる原因となっています。また、取り付け道路からの進入時に視界を妨げ交通安全上支障となることから、暴風雪柵を折りたたみ式へ切替えを望みます。
- ④ 景観の優れた地域においては、簡易駐車帯やビューポイント等の整備を望みます。

(4) 安全・安心な冬期交通の確保

積雪寒冷な北海道においては、冬期間の安全・安心な交通の確保は、物流や日常生活の上から重要な課題です。冬期間の安全・安心な交通が確保されるよう要望します。

- ① 国道における除排雪事業については、事業費削減による、出動基準の強化及び除排雪回数
の減少により、住民生活環境の悪化及び交通事故の誘発が憂慮されることから、除排雪
事業の充実を望みます。
- ② 地方自治体における除排雪事業は、地域の孤立の解消、快適な冬期生活の上から不可欠
なものであります。除排雪事業は、積雪寒冷な地域における地方自治体の特殊的な財政支
出であることから、道路特定財源を財源とした除排雪事業への助成制度の新設を望みます。

(企画課)